Oxytropis ochrantha TURCZANINOW　きばなのふじぼえんどう
包頭 (n. 40, June 1937).

Rosaceae

**Potentilla bifurca* var. *glabrata* LEHMANN
[*Potentilla* sp. SATAKE in Journ. Jap. Bot. XVI, 610 (1940)].
くさきんろうばい　包頭 (n. 38, June 1937).

Ranunculaceae

**Clematis fruticosa* TURCZANINOW [*Clematis* sp. SATAKE in Journ. Jap. Bot. XVI, 611 (1940)].　シヤラモリスーム (n. 157, Aug. 24, 1939).

○さつまのぎく臥蛇島ニ産ス　（土井美夫）

數年前、鹿兒島縣立第一中學校ノ永井龜彦氏ノ私宅デ、筆者ハ同氏ガトカラ列島ノ臥蛇島南岸デ採リ、同地ヨリ持チ歸ラレ栽培セラレテキルきく屬ノ一種ヲ見セラレタコトガアツタ。其際ハ花時デナカツタノデ斷定シ得ナカツタガ、姿ハさつまのぎくソツクリノモノデアツタ。昨春、永井氏ノ御厚意ニヨリ該苗ノ分讓ヲ受ケ、自宅ニ栽植シタモノガ11月下旬ニ開花シタノデ、今回さつまのぎく (*Chrysanthemum ornatum* HEMSLEY) ト同定スルコトヲ得タ。コノ產地ハ新ニ知ラレタモノデアリ又同時ニさつまのぎくノ分布ノ南限デアル。倘永井氏ガさつまのぎくヲ採集セラレタノハ1935年10月4日デアル。

○のぢぎくノ一新品種よしとしのぢぎく　（土井美夫）

1940年12月17日薩摩國吉利村へのぢぎくノ調査ニ行ツタ際、花ノ純白ナのぢぎくノ群落中ニ一群落全部（10數株）ガ舌狀瓣ノ紅紫色ヲ呈シテキルノヲ見出シタ。

のぢぎくノ仲間デハ、きばなのぢぎくノヤウニ舌狀瓣ガ黃色ヲ示スモノガアツタリ（コレニハ濃淡ノ程度ハ色々現ハレル）又純白色ノモノデモ花期ノ終リニ近ヅクト、1株中ノ頭狀花ノ一部ガ紅紫色ヲ示スモノヽアルコトハ既知ノ事實デアル。然ルニ今此處ニ記スモノハ、1株中ノ舌狀瓣ハ蕾ノモノカラ開花シタモノマデ全部一樣ニ紅紫花ヲ呈スルモノデアツテ、純白色ヨリ紅紫色ニ至ル中間色ノ濃度ノモノハ見ラレナイ。コノモノハのぢぎくノ一新品種ト考ヘラレルノデ產地ニ因ンデ**よしとしのぢぎく**ノ新稱ヲ附スルコトニシタイ。

Chrysanthemum japonense NAKAI
forma **satsumense** DOI, forma nov.
Flores purpurascentes.
Nom. Jap. *Yositosi-nojigiku* (nov.).
Hab. Japonia, Kiusiu: Prov. Satsuma, Yositosimura (leg. Y. DOI, 17. Dec. 1940—typus).

○霧島山ニ新ニ產スルコトヲ知ラレタル二・三ノ植物ニ就テ　（土井美夫）

1938年9月23, 24ノ兩日、霧島山ニ採集調査ニ赴イタ際つくしありどほしらん、くろごけノ2種ヲ得タ。コレト前後シテこぼろぎらんモ同山ニ產スルコトヲ知ツタ。コレ等ハ霧島山ニハ從來未知デアツテ、新產地ト思ハレルノデ以下少シ記シテ置キタイ。

1) **つくしありどほしらん** (*Myrmechis tsukusiana* MASAMUNE)

ハ正宗氏ガ 1929 年、屋久島品ヲ タイプ トシテ記載シタ珍種デアルガ、屋久島以外ノ産地ハ未ダ知ラレテキナカツタ。筆者ハ 9 月 23 日、霧島溫泉カラ大浪池ニ至ル間ノ針濶混交林内（高サ約 900 m）ノ小區域ニ、花期ハ既ニ過ギテキタガ本種ラシイモノガアルコトヲ見出シタ。入念ニ探シテ漸ク果實ヲ有スルモノ 2 株ヲ得タ。其一部ヲ一昨年ノ春、東大ノ木村陽二郎氏來訪ノ際托シ同定ヲ御願ヒシタ。花時ノモノガ欲シカツタノデ、更ニ昨年 8 月 28 日再ビ同地ヲ訪レタガ既ニ少シク花期ヲ逸シテキタ。コノ際モ長時間探査シテ漸ク 2 株ヲ得タノミデアツタ（營養體ノミノモノハ 10 數株アツタ）。生育地ノ狀態ヲ簡單ニ記セバ、つが、あかまつ、みづなら、さかき、ゆづりは、やまつばき、ねぢき等ヲ主要素トスル針濶混交樹林帶デ、樹蔭ニはひのき、みやましきみ等ガアリ、林床植物トシテつるありどほし、みやまうづら等ガアル。而シテ將來間伐サレルヤウナコトガアレバ絶滅ノ恐レガアル。*Myrmechis* 屬ノ植物ハ九州本土ニハ初發見デアル。

2) **くろごけ** (*Andreaea Fauriei* BESCH)

最近堀川氏ニヨツテ、九州デハ北九州ノ由布岳ヤ屋久島ニ産スルコトノ報告ガアツタガ、霧島山大浪池畔ノ火山岩上ニ、本種ラシイモノガ多數生育シテキルコトハ筆者ハ以前ヨリ知ツテキタ。昨年 8 月ニモ造胞體ヲツケタ材料ヲ多數得テ、檢鏡ノ結果本種デアルコトヲ確認シタ。霧島山ニ新シイト同時ニ南九州本土デモ初發見デアル。

3) **こほろぎらん** (*Stigmatodactylus sikokianus* MAXIM.)

南九州デハ肥後國矢岳、大隅國高隈山ニ産スルコトハ既知ノ事實デアルガ、先年鹿兒島縣師範學校教諭川村純二氏ガ若干ノ標本ヲ持參サレ、同定ヲ依賴サレタモノヽ中ニ霧島山栗野岳産ノ本種ガアツタ。卽チ 1937 年 10 月、同氏ガ栗野岳六合目邊ノ杉林中デ採ツタモノデアル。

以上ヲ記スニ當リ、つくしありどほしらんノ タイプ ト比較同定下サツタ東大ノ木村陽二郎氏並ニこほろぎらんヲ贈ラレタ川村純二氏ニ對シ厚ク謝意ヲ表シマス。

○ひしもどき （原　寛）

水草研究ノ權威トシテ知ラレタ Hugo GLÜCK ハ昨年 9 月 28 日死去シタガ、彼ノ最後ノ論文ハ ENGLER, Bot. Jahrb. LXXI–3, pp. 267–336, 2 tab. (Dec. 1940) ニ掲載サレ、再ビひしもどき屬 (*Trapella*) 植物ニ關スル精細ナル觀察ガ發表サレタ。彼ハ日本・支那カラ取寄セタ生品ヤ多數ノ標本ヲ研究シタ結果コレヲ *T. sinensis* 及ビ *T. antennifera* ノ 2 種ニ分類シ、同論文 330 頁デソノ區別點トシテ次ノ 5 項目ヲ擧ゲテキル。 1) *T. antennifera* ノ方ガ果實ガ大デ果梗ヲ含メ長サ (28) 40–50 mm、*T. sinensis* デハ長サ 26–32 (40) mm。 2) *T. antennifera* ノ果實ハ 5 本ノ鞭狀突起ガアルガ、*T. sinensis* デハ 3 本アルノミ。 3) *T. antennifera* ノ果實ハ通常 3 條ノヨク發達シタ翼ガアリ、稀ニ無翼、*T. sinensis* デハ無翼カ又ハ退化シタ翼ガアル。 4) *T. antennifera* ノ種子ハ殆ド常ニ少シク彎曲シ、大デ長サ 13–15.5 mm 幅 1.4–1.8 mm、*T. sinensis* デハ殆ド眞直デ、長サ